

この度は、タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
本取扱説明書は両面に記載されており、こちらの面は、モデル名 A08 用、ニコン、キヤノン、ソニーマウント共用となっております。ご使用になるレンズのモデル名とマウント名をご確認になり、該当する項目を特に注意してお読みください。また、このレンズを取り付けてご使用になるカメラの取扱説明書も併せてお読みください。お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。なお、本レンズをお使い頂く上での安全上の注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、こちらも必ずお読みください。

モデル名	A08
焦点距離	200-500mm
明るさ	F/5-6.3
画角	12° ～ 5°
レンズ構成	10 群 13 枚
最短撮影距離	2.5m (ズーム全域)
最大撮影倍率	1 : 5.0 (500mm 時)
フィルター径	86mm
全長	224.5mm (FEC アダプターを除く) *
最大径	93.5mm *
質量	1226g (FEC アダプターを除く) *

●本文中のマークについて

不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

カメラへの取り付け・取り外し

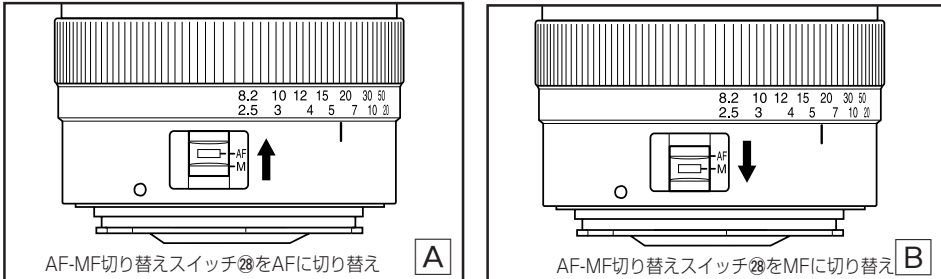
1. レンズの後キャップを外します。
2. レンズ取り付け指標 26 とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。
ニコンをお使いの場合は、レンズの絞り指標 10 とカメラ側のマウント指標を合わせて取り付けます。
3. レンズを時計回りに（ニコンの場合は反時計回り）カチリとロックがかかるまで回します。
4. 取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計回り（ニコンの場合は時計回り）に回して取り外します。

詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

ピント合わせ AF（オートフォーカス）

1. カメラもしくはレンズを AF モードに切り替えます。
2. ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。
レンズが自動的に作動し、ピントを合わせます。
3. ファインダー内にピントの合ったことを知らせるマークが点灯します。
4. シャッターボタンを押して撮影します。

AF モードに設定されている時にフォーカスリング 8 を無理に手でまわすと、レンズ内部の機構を破損する恐れがあります。
AF と MF の切り替え方法は、ご使用カメラによって異なります。
ニコン・ソニー カメラの切り替えスイッチで行います。
キヤノン→レンズの AF-MF 切り替えスイッチ 28 で行います。（図 A、B）



詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

ピント合わせ MF（マニュアルフォーカス）

●ニコン、ソニーのカメラをお使いの場合

1. カメラ側を MF モードに切り替えます。
2. ファインダーをのぞきながらフォーカスリング 8 を回してピントを合わせます。
像がハッキリ見える状態がピントの合った位置です。

●キヤノンのカメラをお使いの場合

1. レンズ側の AF-MF 切り替えスイッチ 28 を MF モードに切り替えます。
2. ファインダーをのぞきながらフォーカスリング 8 を回してピントを合わせます。
像がハッキリ見える状態がピントの合った位置です。

カメラのフォーカスイド機能により、MF モードに設定されていても、シャッターボタンを半押ししながらフォーカスリング 8 を回すと、ピントが合ったとき、ファインダー内の合焦ランプが点灯する場合があります。
さまざまな条件下で良好なピントを確保できるよう、フォーカスリング 8 は無限遠 (∞) 位置よりも余分に回転します。したがって、MF 撮影では、無限遠にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。
詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

ズーミング

ファインダーをのぞきながらズームリング 5 を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影します。

絞りについて

●キヤノン、ソニーのカメラをお使いの場合

撮影モードにしたがって、絞りはカメラ側で設定します。

●ニコンのカメラをお使いの場合

撮影モードにしたがって、「レンズ側の絞りリングで設定する場合」、「絞りをカメラ側で設定する場合」、「両方が選択できる場合」があります。ご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

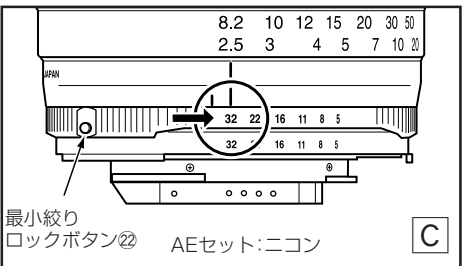
◆レンズ側の絞りリングで設定する場合

レンズの絞りリング 9 を最小絞りから外し、希望の絞り値を指標に合わせて設定します。（図 C）

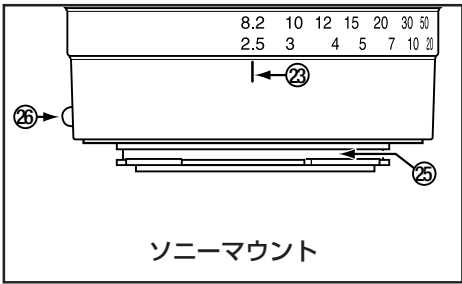
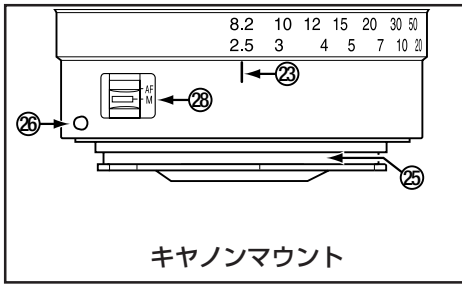
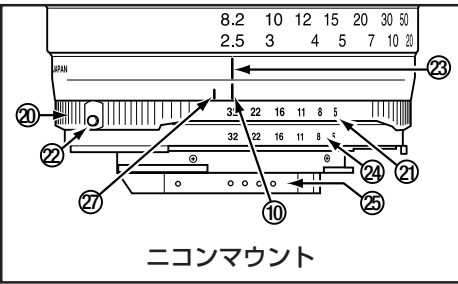
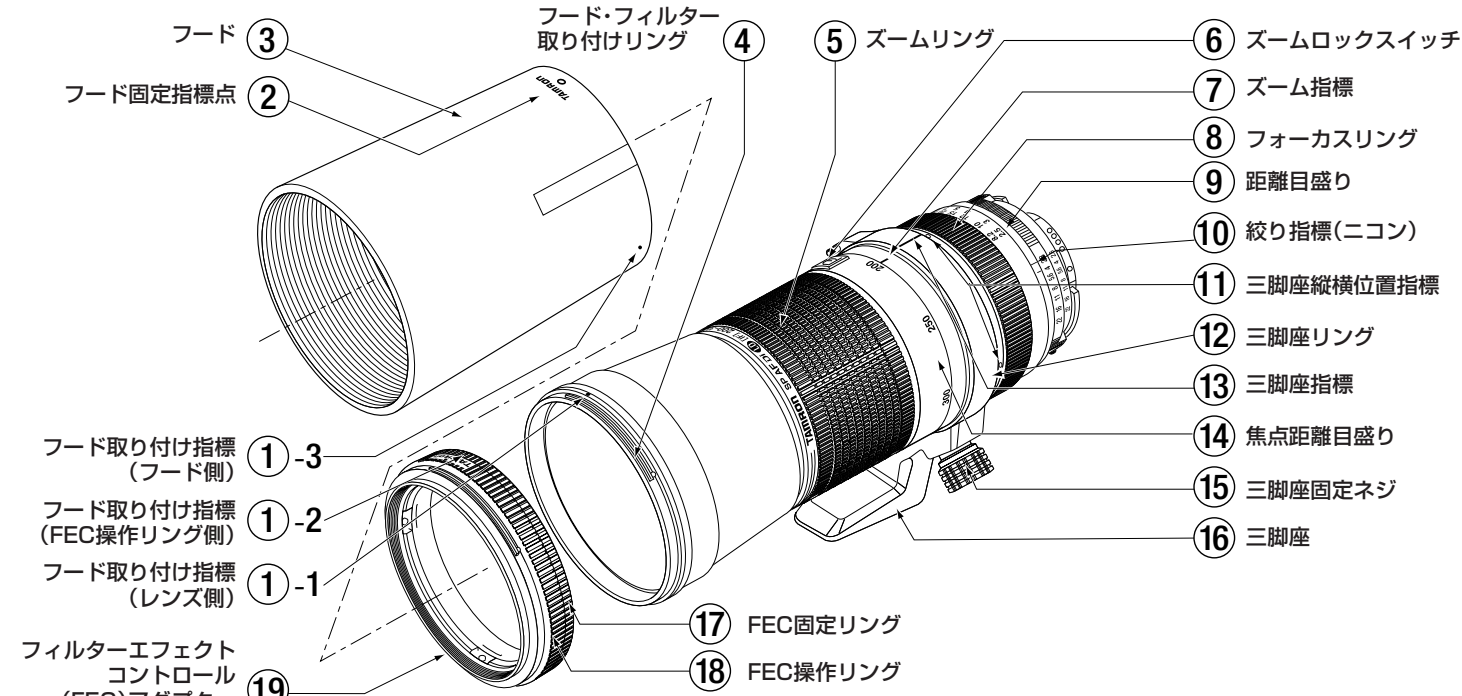
◆カメラ側で設定する場合

レンズの絞りリング 9 を最小絞りにセットし、カメラ側で希望の絞り値を設定します。

詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。



各部の名称



マウント部の名称

（下記のレンズマウント図を参照）

- 20 絞りリング(ニコン)
- 21 絞り目盛り(ニコン)
- 22 最小絞りロックボタン(ニコン)
- 23 距離指標
- 24 ファインダー内光学表示用絞り目盛り(ニコン)
- 25 レンズマウントおよび信号接点
- 26 レンズ取り付け指標(キヤノン/ソニー)
- 27 長焦点用絞り指標(ニコン)
- 28 AF-MF切り替えスイッチ(キヤノン)

フィルター・エフェクト・コントロール（FEC）アダプター

●FEC アダプター

A08には、フードを装着している状態でもフィルターを回転させる事ができるFECアダプターが標準装備されています。FEC 操作リングを回転させることで、フィルターが回転し、PL フィルターなどの効果を調整する事ができます。

FEC アダプターは、レンズ本体のフィルターネジを利用して取り付ける仕組みになっています。ネジ山を間違えて無理に取り付けたり強くしめすぎたりすると、ネジ山をこわしたり、アダプターが外れなくなる場合がありますのでご注意ください。
FEC アダプターを取り付ける際には、レンズ本体にしっかりと固定してください。しっかりと固定されていないと、フードの取り付け・取り外しの際に FEC アダプターと一緒に外れてしまう場合があります。

PL フィルター以外のフィルター（クロスフィルター等）でも同様の使い方が出来ます。

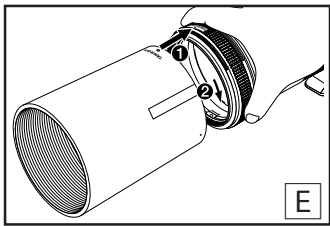
レンズフード

●FEC アダプターが装着されていない時のレンズフードの取り付け

1. フード側のフード取り付け指標 ①-3「・」と、レンズ側のフード取り付け指標 ①-1「・」が合致する位置で、フードをレンズにまっすぐにかぶせます。
2. フード固定指標点 ②「TAMRON ○」が、レンズ側のフード取り付け指標 ①-1「・」に合致するまでフードを時計回りに回転させると（約 90 度）、カチリと音がして、フードが固定されます。

●FEC アダプターを装着した時の、レンズフードの取り付け（図 E）

1. FEC 操作リング 18 が回転しないように、片手でしっかり押さえます。
2. フード側のフード取り付け指標 ①-3「・」と、FEC 操作リング側のフード取り付け指標 ①-2「TAMRON ・」が合致する位置で、フードをレンズにまっすぐにかぶせます。（操作 ①）
3. フード固定指標点 ②「TAMRON ○」が、FEC 操作リング側のフード取り付け指標 ①-2「TAMRON ・」に合致するまで時計回りに回転させると（約 90 度）、カチリと音がして、フードが固定されます。（操作 ②）



●収納時の取り付け（図 G）

収納時には、レンズフードを逆方向に取り付けることができます。

1. フードの開いている側をレンズに向け、フード固定指標点 ②「TAMRON ○」が、レンズ側のフード取り付け指標 ①-1「・」※におおよそ合致する位置で、レンズにかぶせます。（操作 ①）
※ FEC アダプター装着時は、FEC 操作リング側の指標 ①-2「TAMRON ・」
2. そのまま時計回りに（約 90 度）回転させると、フードが前に抜けてなくなります。（構造上の理由により、逆付けした際にはフードは固定されません）（操作 ②）

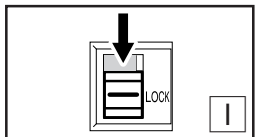
A08 のフードは、逆付けした際には固定されない構造になっています。（図 H）
レンズを持ち運ぶ際には、必ずレンズ本体をしっかりと持ってください。フードの部分だけを持つと、レンズ本体が傷付くことがあります。また、大変に危険ですのでおやめください。

ズームロック機構（モデル A08）

A08 には、携行中にレンズが自重で伸びて（ズームリングが望遠側へ回転して）しまうのを防ぐズームロック機構が設けられています。この機構により、200 mm 位置でズームリングの回転を固定し、レンズが伸びてしまうのを防ぐことができます。

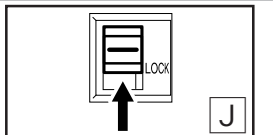
●ズームロックをするには（図 I）

1. ズームリング 5 を 200 mm 位置に合わせます。
2. ズームロックスイッチ 6 を手前（カメラ側）に引きます。
赤い印が表示され、ロックされたことを示します。



●ズームロックを解除するには（図 J）

1. ズームロックスイッチ 6 を上に押し上げます。
赤い印が見えなくなります。
2. ズームロックスイッチ 6 のロックが解除され、ズームリング 5 が回転できるようになります。



三脚座

A08 には三脚座がついています。三脚を使用するときは、三脚座でレンズを三脚にしっかりと固定してください。

●カメラの縦横位置を変える（図 K）

1. 三脚座固定ネジ 15 を反時計回りに回してゆるめます。（操作 ①）
2. レンズを軸にしてカメラを回し、三脚座指標 13 と三脚座縦横位置指標 11 の位置を合わせます。（操作 ②）
3. 三脚座固定ネジ 15 を時計回りに回してしめ、カメラをロックします。（操作 ③）

●三脚座を取り外す（図 L）

1. 三脚座固定ネジ 15 を反時計回りに回し、ネジ上の白い点と三脚座指標 13 を合わせます。（操作 ①）
2. 三脚座固定ネジ 15 を外側に引きます。三脚座リング 12 が開き、三脚座が外れます。（操作 ②、③）

●三脚座を取り付ける

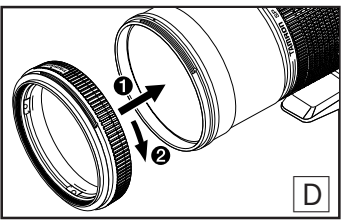
1. 三脚座リング 12 を開き、レンズ本体にセットします。
2. 三脚座固定ネジ上の白い点と三脚座指標 13 が合っていることを確認し、三脚座固定ネジ 15 を外側に引きます。
3. 三脚座リング 12 を閉じ、三脚座固定ネジ 15 を時計回りに回して締めます。

三脚座を外すときは、カメラをしっかり保持し、カメラとレンズを落とさないように注意してください。
三脚座固定ネジを引くときは、ネジ上の白い点と三脚座の指標が合っていることを確認してください。

●FEC アダプターの取り付け・取り外し（図 D）

◆取り付け方

1. FEC アダプター 19 をフード・フィルター取り付けリング 4 にフィルターと同じ要領でねじ込みます。（操作 ①）
2. FEC アダプター 19 を時計回りに回転させます。（操作 ②）
3. FEC アダプター 19 がレンズ本体に取り付きます。



◆取り外し方

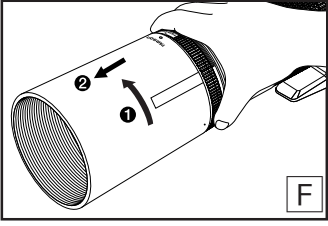
1. FEC 固定リング 17 を反時計回りに回転させます。
2. FEC アダプター 19 がレンズ本体から外れます。

●FEC アダプターが装着されていない時のレンズフードの取り外し

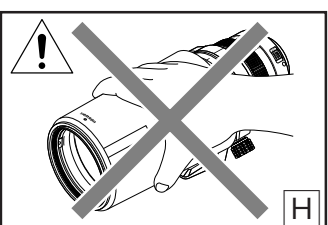
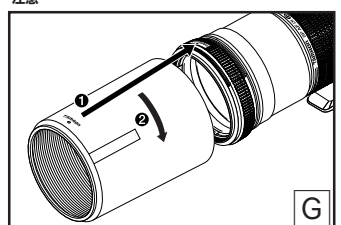
1. 少し力を入れてフードを反時計回りに回転させると、カチリと音がして、フードの固定が外れます。
2. そのまま（約 90 度）回転させると、フードが外れます。

●FEC アダプターを装着した時の、レンズフードの取り外し（図 F）

1. FEC 操作リング 18 が回転しないように、片手でしっかり押さえます。
2. 少し力を入れてフードを反時計回りに回転させると、カチリと音がして、フードの固定が外れます。（操作 ①）
3. そのまま（約 90 度）回転させると、フードが外れます。（操作 ②）

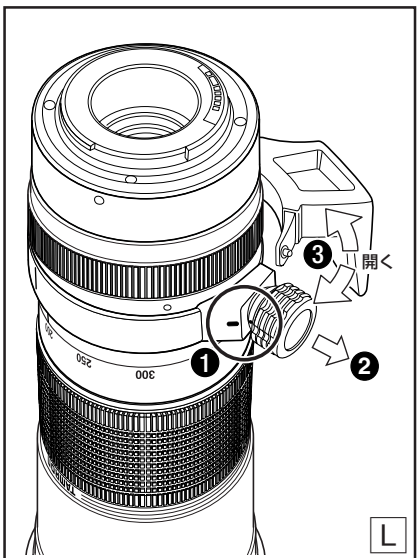
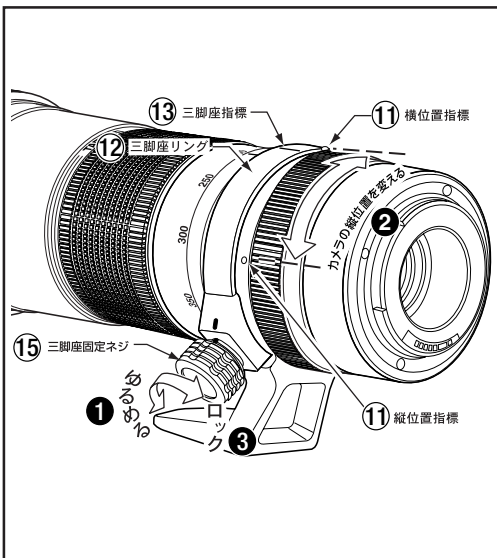


逆付けした際にはフードは固定されません。



ズームリング 5 が 200 mm になっていないと、ズームロックスイッチは手前に引けません。ズームロックスイッチを無理に手前に引いたり、ロックされた状態でズームリングを回転させると故障の原因となります。
ズームロック機構は、レンズ携帯時にレンズの伸びを防ぐための機構です。200 mm 以外の焦点距離でレンズを上向きまたは下向きにして長時間撮影をすると、ズームリングが回転し、レンズの焦点距離は、露光中に自重でワイド側またはテレ側に変化してしまうことがありますのでご注意ください。

ズームロックされた状態でも、200 mm 位置での撮影は可能です。



TAMRON

取扱説明書

この度は、タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
本取扱説明書は両面に記載されており、こちらの面は**モデル名A05、A09用、ニコン、キャノン、ソニー、ペンタックスマウント共用**となっております。
ご使用になるレンズのモデル名とマウント名をご確認になり、該当する項目を特に注意してお読みください。

また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も併せてお読みください。お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管してください。

なお、本レンズをお使い頂く上での安全上の注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読みください。

モデル名	A05	A09
焦点距離	17-35mm	28-75mm
明るさ	F/2.8-4	F/2.8
画角	104° - 63°	75° - 32°
レンズ構成	11群 14枚	14群 16枚
最短撮影距離	0.3m	0.33m
最大撮写倍率	1:5.4 (35mm時)	1:3.9 (75mm時)
フィルター径	77mm	67mm
全長	86.5mm *	92mm *
最大径	83.2mm *	73mm *
質量	440g *	510g *

*の数値はニコン用のものです。

●本文中のマークについて

- 注意** 不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。
- 参考** 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

カメラへの取り付け・取り外し

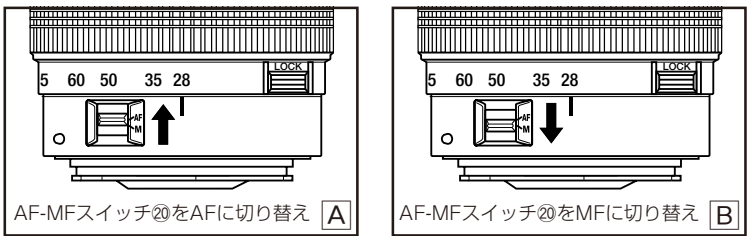
1. レンズの後キャップを外します。
2. レンズ取り付け指標③とカメラ側のマウント指標を合わせてはめ込みます。
ニコン／ペンタックスのカメラは、レンズのズーム／絞り指標⑦とカメラ側のマウント指標を合わせて取り付けます。
3. レンズを時計回りに（ニコンの場合は反時計回り）カチリとロックがかかるまで回します。
4. 取り外すときは、カメラ側のレンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計回り（ニコンの場合は時計回り）に回して取り外します。

参考 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を合わせてご覧ください。

ピント合わせ AF（オートフォーカス）

1. カメラもしくはレンズを AF モードに切り替えます。
2. ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。
レンズが自動的に作動し、ピントを合わせます。
3. ファインダー内にピントの合ったことを知らせるマークが点灯します。
4. シャッターボタンを押して撮影します。

- 注意** ・AFモードに設定されている時に、フォーカスリング⑩を無理に手でまわすとレンズ内部の機構を破損する恐れがあります。
・AF と MF の切り替え方法は、ご使用のカメラのメーカーによって異なります。
ニコン・ソニー・ペンタックス→カメラの切り替えスイッチで行います。
キャノン→レンズの AF-MF 切り替えスイッチ②③で行います。（図 A・B）

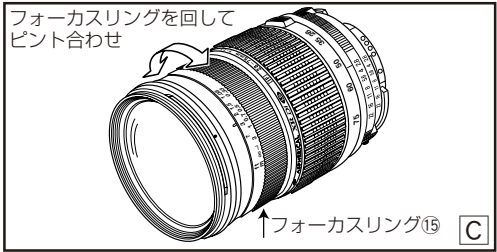


参考 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

ピント合わせ MF（マニュアルフォーカス）

●ニコン、ソニー、ペンタックスのカメラをお使いの場合（図 C）

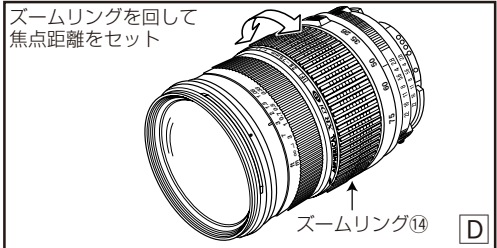
1. カメラを MF モードに切り替えます。
2. ファインダーをのぞきながらフォーカスリング⑩を回してピントを合わせます。
像がハッキリ見える状態が、ピントの合った位置です。



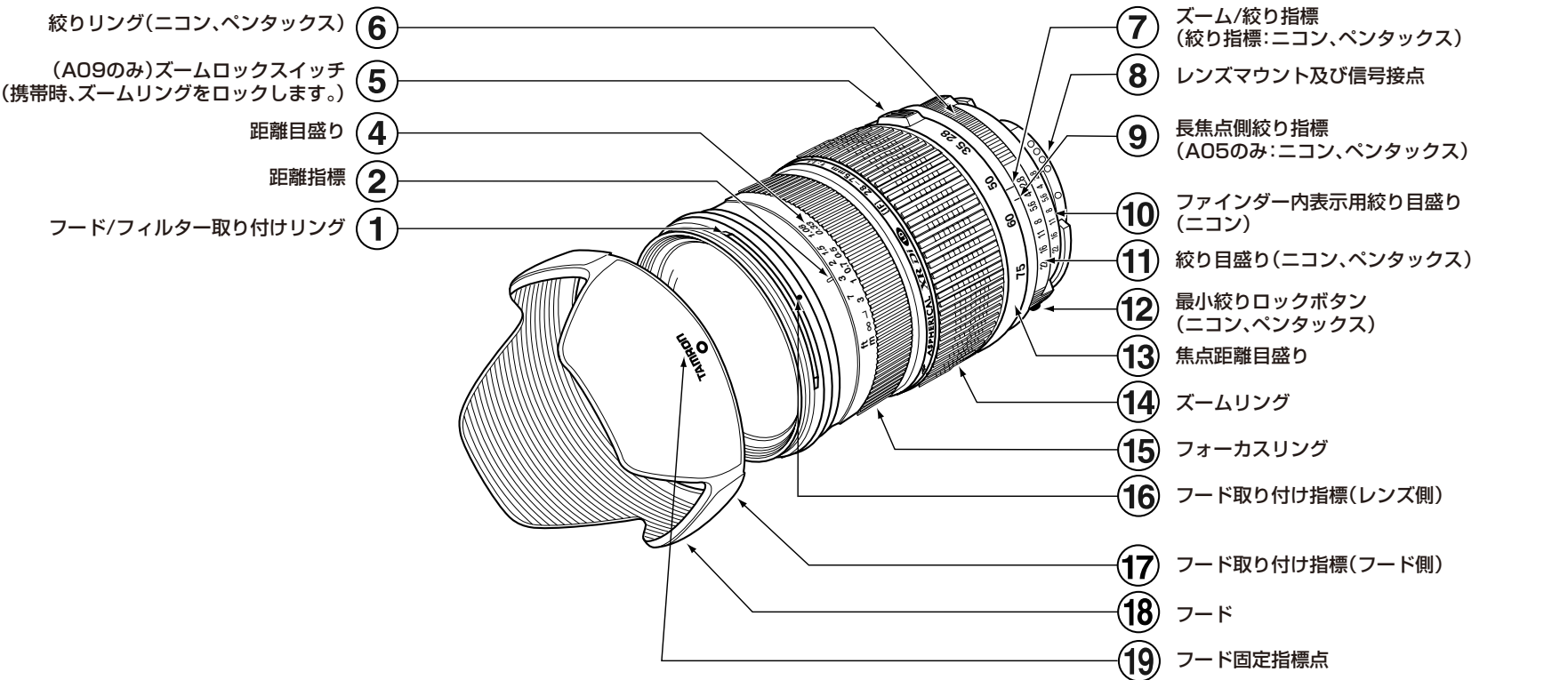
- 参考** ・カメラのフォーカスエイド機能により、MF モードに設定されていてもシャッターボタンを半押ししながらフォーカスリング⑩を回すと、ピントが合ったとき、ファインダー内の合焦ランプが点灯する場合があります。
・さまざまな条件下で良好なピントを確保できるよう、フォーカスリング⑩は無限遠（∞）位置よりも余分に回転します。したがって、マニュアルフォーカス撮影では、無限遠にピントを合わせる場合も、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。
・詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

ズーミング

ファインダーをのぞきながらズームリング⑭を回し、作画イメージに合う焦点距離にセットして撮影します。（図 D）



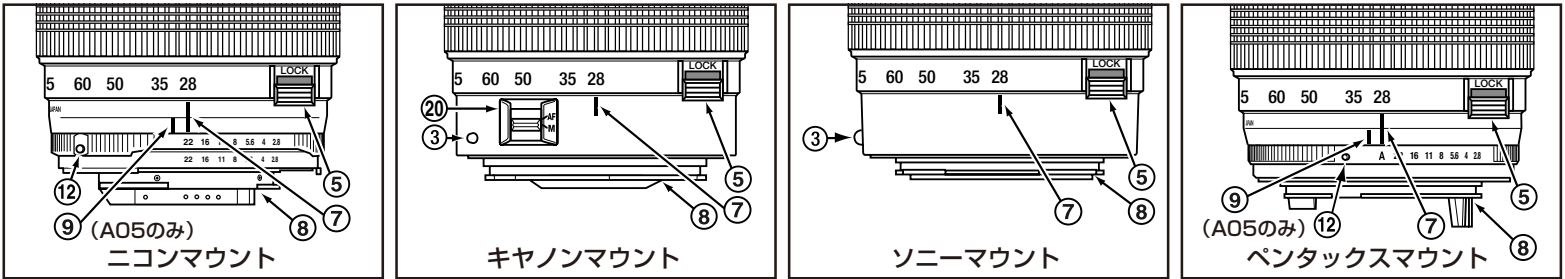
各部の名称（図はモデル名 A09 のものですが、各部の名称は A05 も同様となります）



マウント部の名称（右のレンズマウント図を参照）

AF-MF切り替えスイッチ（キャノン）

レンズ取り付け指標③



・コニカミノルタαマウントと共通です。

レンズフードについて

バヨネット式レンズフードが標準装備されています。描写に悪影響を及ぼす画角外の余分な光線をカットするため、正しく装着して撮影されることをお勧めいたします。ただし、ご使用のカメラがストロボ内蔵の場合は裏面の「撮影時のご注意」をよくお読みください。

●取り付け（図 E、F）

1. フード側のフード取り付け指標⑰とレンズ側のフード取り付け指標⑯が合致する位置でフードをまっすくにかぶせます。（操作①、②）
2. フード固定指標点⑱「TAMRON ○」がレンズ側の指標点⑲に合致するまでフードを時計回りに回転させると（約 90 度）カチリと音がかちてフードが固定されます。（操作③）

●収納時の取り付け（図 G）

収納時には、レンズフードを逆向きにして取り付けることができます。

1. フードの開いている側をレンズに向け、フード固定指標点⑱「TAMRON ○」をレンズ側のフード取り付け指標⑯に合わせてはめ込みます。（操作④）
2. フード側のフード取り付け指標⑰が真上に来るまでフードを回して、固定します。（操作⑤）

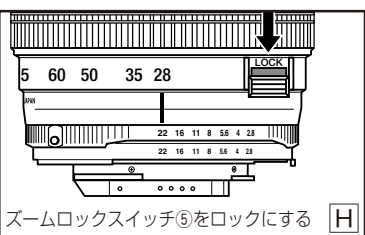
注意 ・フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレを生じますのでご注意ください。

ズームロック機構（モデル A09）

A09 には、携行中にレンズが自重で伸びて（ズームリングが望遠側へ回転して）しまうのを防ぐズームロック機構が設けられています。この機構により、28 mm 位置でズームリングの回転を固定し、レンズが伸びてしまうのを防ぐことができます。

●ズームロックをするには（図 H）

1. ズームリング⑭を 28 mm 位置に合わせます。
2. ズームロックスイッチ⑤を手前（カメラ側）に引きます。
赤い印が表示され、ロックされたことを示します。



- 注意** ・ズームリング⑭が 28 mm になっていないと、ズームロックスイッチ⑤は手前に引けません。ズームロックスイッチを無理に手前に引いたり、ロックされた状態でズームリングを回転させると故障の原因となります。
・ズームロック機構は、レンズ携帯時にレンズの伸びを防ぐための機構です。28 mm 以外の焦点距離でレンズを上向きまたは下向きにして長時間撮影をすると、ズームレンズが回転し、レンズの焦点距離は、露光中に自重でワイド側またはテレ側に変化してしまうことがありますのでご注意ください。

参考 ・ズームロックされた状態でも、28 mm 位置での撮影は可能です。

絞りについて

●キャノン、ソニーのカメラをお使いの場合

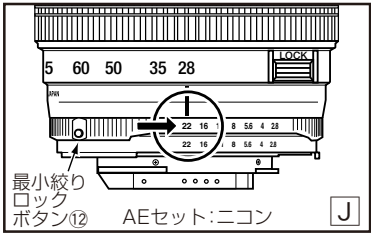
撮影モードにしたがって、絞りはカメラ側で設定します。

●ニコン、ペンタックスのカメラをお使いの場合（図 J、K）

撮影モードにしたがって、「レンズ側の絞りリングで設定する場合」、「絞りをカメラ側で設定する場合」、「両方が選択できる場合」があります。ご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

◆レンズ側の絞りリングで設定する場合

レンズの絞りリングを最小絞り（A マーク）から外し、希望の絞り値を指標に合わせて設定します。



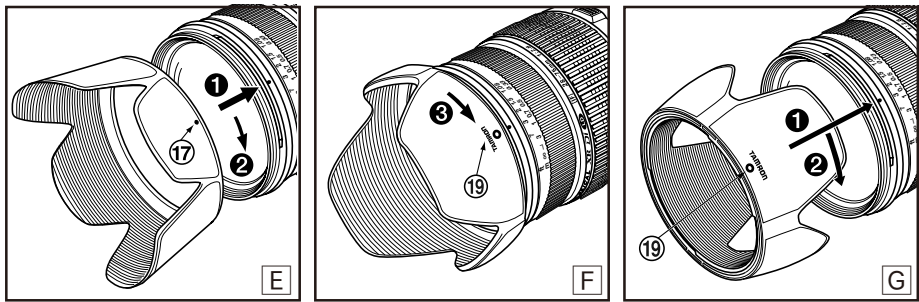
参考 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

被写界深度の確認

絞込プレビュー機構のついたカメラでは、被写界深度はファインダーで直接確かめることができます。ご使用カメラの取扱説明書をご覧ください。

- 参考** ・被写界深度表が必要な方は、弊社営業所までお問い合わせください。
・被写界深度表は、インターネットのタムロンホームページ（サポート情報）からダウンロードしていただくこともできます。
ホームページアドレス：http://www.tamron.co.jp/

モデル名 A08 の説明については、裏面をご覧ください。



本取扱説明書に記載されているレンズはデジタル一眼レフカメラの諸特性に配慮した光学設計を行っておりますが、デジタル一眼レフカメラとの組合せにおいて、AF 撮影時、撮影条件によりまして、レンズ側の AF 合焦精度が仕様内でも、ピント位置がわずかに前あるいは後になる場合がございます。

撮影時のご注意

- ・本取扱説明書に記載されたレンズは、最短撮影距離 0.3～2.5m を実現するために、インターナルフォーカス方式を採用しています。このため、無限遠に満たない撮影距離で撮影した場合、他のフォーカス方式を採用しているレンズに比較して、撮影範囲が広くなります。
- ・カメラの内蔵ストロボを使ってフラッシュ撮影される場合は、フードやレンズ本体によるケラレが出るので、フードは必ず外してください。
特にワイド側や近距離での撮影では、レンズ本体がストロボ光を遮って、レンズフードを使わなくても画面下部に半円形のケラレが出る場合があります。
フラッシュ撮影では、外部着脱式の専用ストロボのご使用をおすすめします。
ご使用のカメラの取扱説明書「内蔵ストロボ」に関する項を併せてご覧ください。
- ・レンズの光学性能上、テレコンバーターのご使用はお勧めしません。
- ・望遠側の撮影では、カメラぶれにご注意ください。カメラぶれを防ぐためには、ISO400、800 などの高感度フィルムを使用し、できるだけシャッター速度を速くして撮影すると効果的です。また、三脚の使用もぶれ防止に有効です。
- ・AF 撮影時には、フォーカスリングの動きを妨げないでください。無理に手で回したり押えたりすると、故障の原因になります。
- ・カメラの表示システムの違いにより、開放 F 値、及び最小 F 値が仕様と異なった値で表示される場合がありますが、異常ではありません。また、長い焦点距離側で表示される最小絞り値が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- ・赤外フィルムの撮影については、本レンズには、赤外指標を表示しておりません。赤外用赤フィルターを使う白黒の赤外フィルムはご使用になれませんので、ご注意ください。

長くご愛用いただくために

- ・レンズ面についたゴミや汚れは、ブローアで吹き飛ばすか柔らかいハケで取り除いてください。レンズ面は指で触れないようにしてください。
- ・レンズ面に指紋や油がついたときは、市販のレンズスクリーニングペーパー、よく洗った木綿の布やマイクロファイバークロス（眼鏡などの専用清掃布）に、レンズクリーナーをしみこませて、レンズ面の中心部から軽く拭き取ってください。シリコンクロスは使わないでください。
- ・鏡筒部は、シリコンクロスで清掃してください。ペンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。
- ・カビはレンズの大敵です。レンズ面に指紋をつけたときや、高温多湿の海や山での撮影後には必ずレンズを清掃してください。また、ボディから取り外したレンズは、ホコリやキズがつくのを防ぐため、専用キャップを前後に付けてケース等に入れてください。風通しがよく、ゴミやホコリの少ない場所に保管してください。ケースに入れて保管する場合は、市販の乾燥剤を入れ、時々交換してください。
- ・レンズの信号接点には、指を触れないようにしてください。ホコリや汚れなどによって接触不良になると、レンズとカメラ間の信号の伝達が正しく行われなくなり、誤作動の原因になります。
- ・温度が急激に変化すると、カメラ及びレンズ内部に水滴が生じ、故障の原因となります。ビニール袋などで密封し、周囲の温度になじませてから取り出してご使用ください。

製品保証およびアフターサービス

1. ご購入日より1年間の保証期間経過後の修理は有料となります。なお、運賃諸掛はお客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理用性能部品は生産終了後7年を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。また、期間後であっても修理可能な場合がありますので、お問い合わせのカメラ店、又は弊社下記営業所までご相談下さい。
3. 日本国外で故障した場合は、東京営業所までご相談下さい。緊急の場合は下記の弊社海外現地法人までご相談下さい。但し、日本国内で発行された保証書は海外では無効ですのでご注意ください。
4. 修理品をご送付の場合は、書面にて修理依頼箇所を明確にご指示のうえ、十分に梱包してお送り下さい。

株式会社タムロン 映像営業部
東京営業所：〒101-0047 東京都千代田区内神田2-15-11 昭和神田ビル4F Tel. (03) 3251-3856 (代表)
大阪営業所：〒542-0081 大阪市中央区南船場2-4-1 美貴ビル6F Tel. (06) 6271-4281 (代表)

タムロン海外現地法人
TAMRON USA INC.：10 Austin Boulevard, Commack, NY 11725 Tel. +1-631-858-8400
TAMRON France：5, avenue Georges Bataille F-60330 Le Plessis-Belleville Boite postale 31 Tel. +33-3-44-60-7300
TAMRON Europe GmbH：Robert-Bosch-Str. 9 50769 Cologne Tel. +49-221-970-3250
TAMRON INDUSTRIES (HONG KONG) LTD.：Unit 25 & 27 & 29 & 31, 9th Floor., Hongkong International Trade & Exhibition Centre, 1 Trademart Drive, Kowloon Bay Tel. +852-2721-7797
海外営業部：〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区瀬沼1385 番地 Tel. (048) 684-9339